施工説明書

2002.7

TOTO

台所用シングルレバー混合栓　TK51A型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

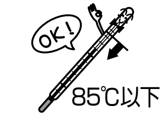
禁止	してはいけない「禁止」内容です。
分解禁止	分解しないでください。
強制	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注　意

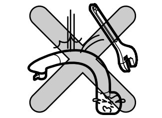
禁止

湯水を逆配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。
85℃より高温でご使用になると水栓の寿命が短くなり、破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

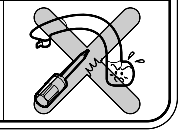


強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



分解禁止

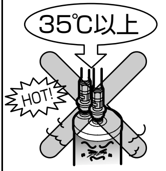
修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



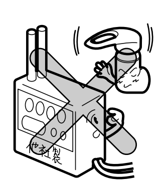
⚠ 注　意

禁止

清水器及びアルカリイオン水生成器は給水用です。給湯配管には絶対に接続しないでください。また、35℃以上の温水を通さないでください。
35℃以上でご使用になると、カートリッジが破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

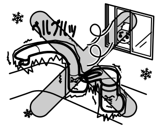


本商品はTOTO清水器(TK300B型、TK301B型)及びアルカリイオン水生成器(TEK511B1型)専用水栓です。他社の清水器及びアルカリイオン水生成器には取付けできません。
取付けの際は、この説明書と共に清水器及びアルカリイオン水生成器の取扱説明書や施工説明書をよくお読みの上、取り付けてください。
各説明書に記載の、種々の傷害及び物的損害が発生することがあります。



清水器・アルカリイオン水生成器用

凍結が予想される場所には設置しないでください。
部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



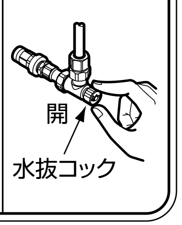
寒冷地用

水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

寒冷地用

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。
部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



2 仕様

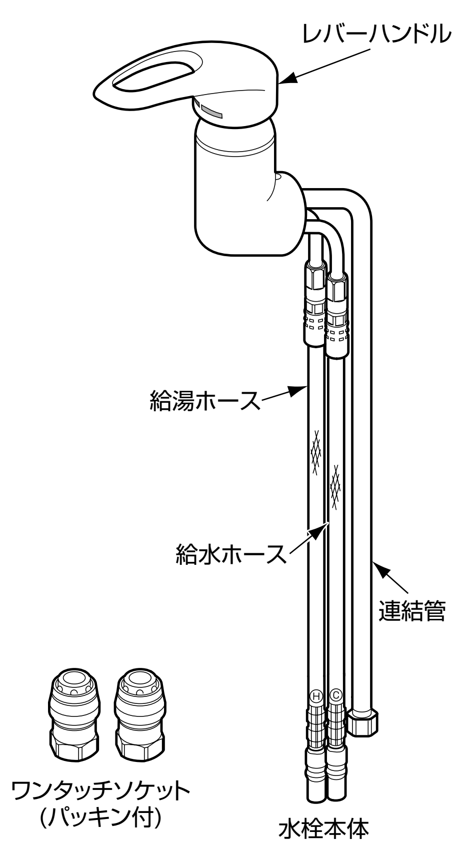
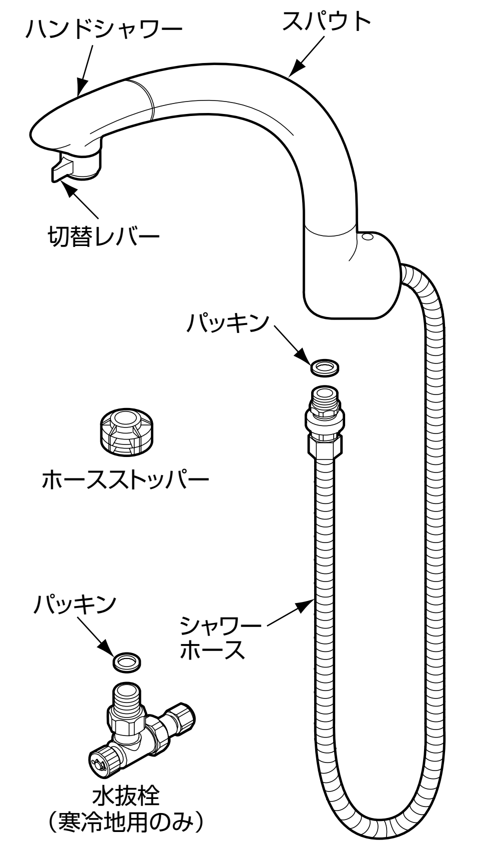
給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度	給水(清水)	35℃以下
	給湯	85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	0～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用　　途		一般住宅台所用

3 取付け前に

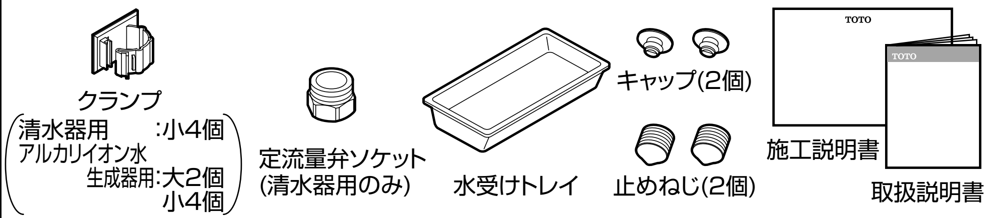
- ●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
  快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の水圧をおすすめします。
- ●給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- ●誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- ●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- ●水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
  <止水栓推奨位置>　・高さ方向：床から480mm
  　　　　　　　　　　・水平方向：給水(本体より右に270mm)
  　　　　　　　　　　　　　　　　給湯(本体より左に170mm)
- ●清水器用の場合、下記を参考にして、清水器の取付場所を選定してください。
  ※混合栓の下部(流し台下)で、既設の配管にぶつからない場所。
  ※混合栓から付属のホースで、設置可能な場所。
  ※ねじや両面テープで、取付台及びカートリッジ本体を十分に支えられる場所。(TK300B型のみ)
- ●アルカリイオン水生成器(TEK511B1型)を接続する場合は、アルカリイオン水生成器の施工説明書を参照してください。
- ●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	ハンドシャワー部
	

そ　の　他

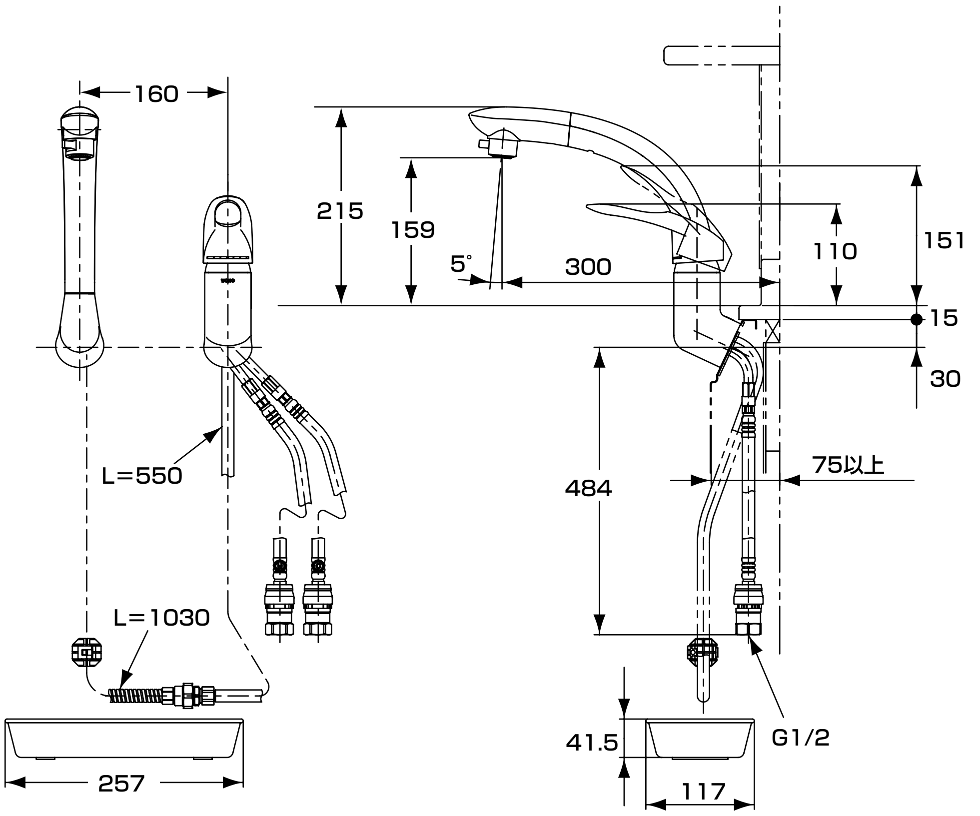


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

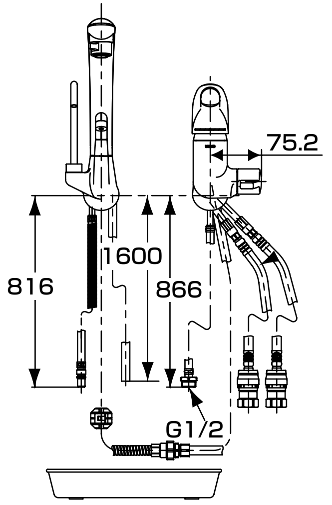
5 完成図

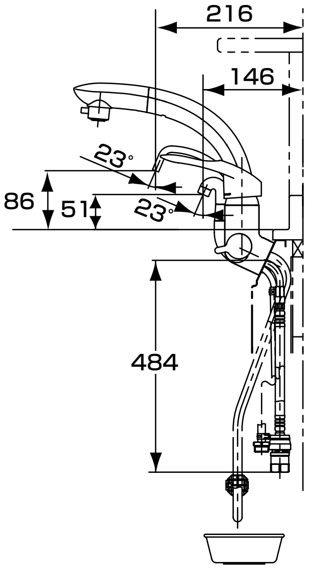
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

TK51A型

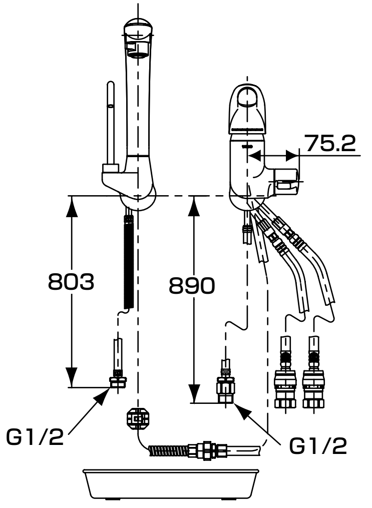


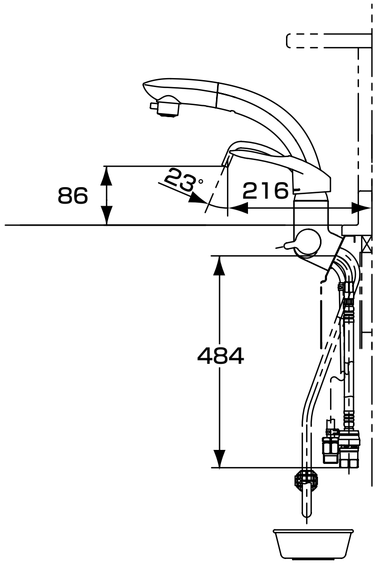
TK51A1型（アルカリイオン水生成器用）



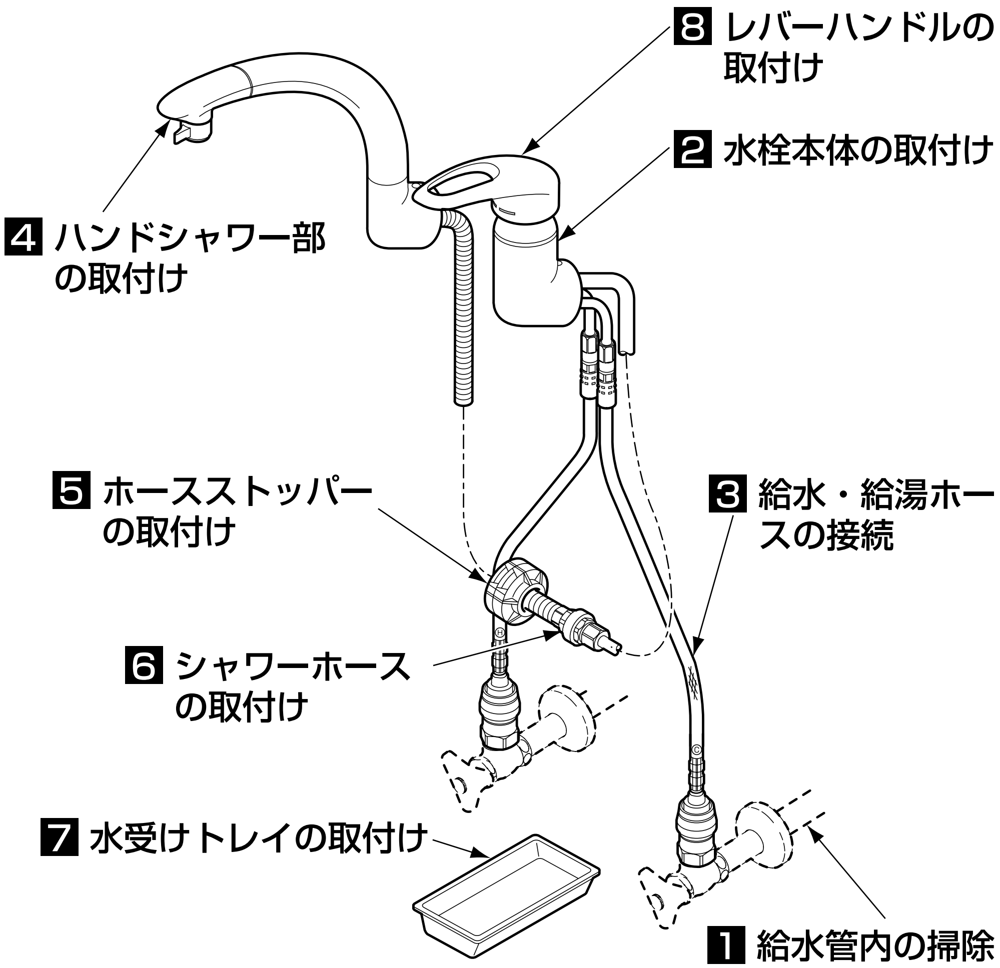


TK51A2型（清水器用）





6-1 施工手順

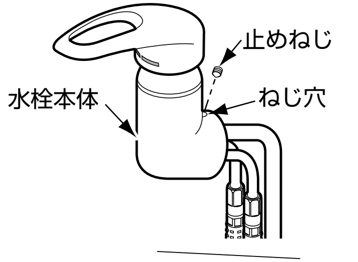


1 給水管内の掃除

取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

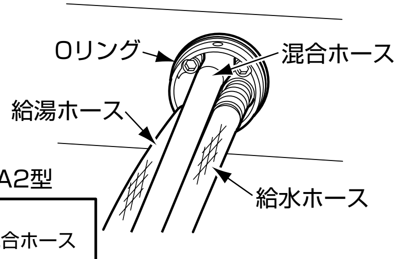
2-1 水栓本体の取付け



①止めねじを水栓本体のねじ穴に仮ねじ込みする。
ねじは、内側に出ないようにする。

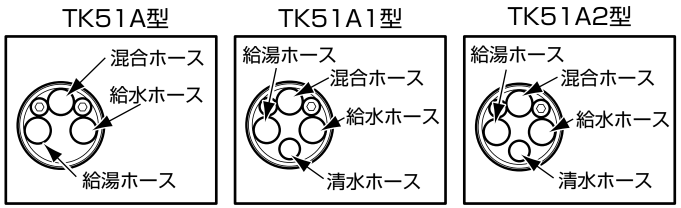
②シンクの取付金具のOリングにごみなどがついてないことを確認する。

③給水・給湯ホースと混合ホースなどをそろえてシンクに向かって右側の取付金具に挿入する。

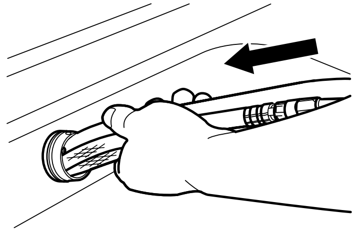


注 意

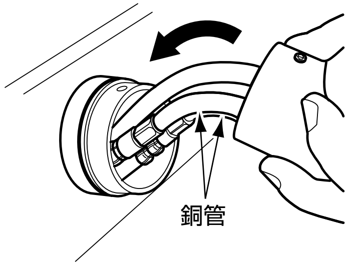
ホースは交差しないようにそろえて挿入してください。



④ホース先端がキャビネットに当たりますので、なるべくホース先端が下向きになるように手でホースを送り込みながら、挿入する。



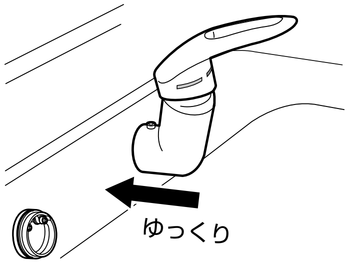
④給水・給湯ホースが銅管につながるところまで挿入できたら、本体をささえながら銅管の曲がりに沿うように本体を押し込む。



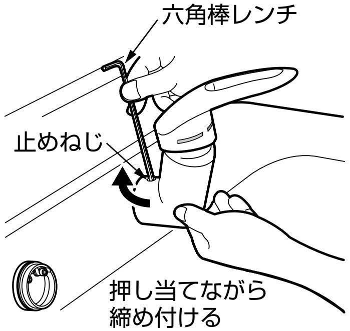
裏面へつづく

2-2 水栓本体の取付け（つづき）

⑥本体が取付金具まで挿入できたら、本体の根元がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押し込む。
※入りにくい場合は、取付金具のOリングに水などをつけると入りやすくます。



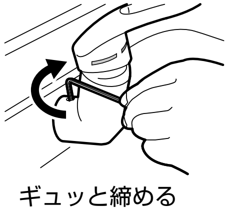
⑦本体の向きを合わせて本体をシンクに押し当てたまま、六角棒レンチの長い方を使って止めねじを締め付ける。



注 意

締付け後、本体がまっすぐに取り付けられていることを確認ください。

⑧六角棒レンチの短い方を使って増締めして確実に固定する。その後、止めねじのキャップを押し込む。



注 意

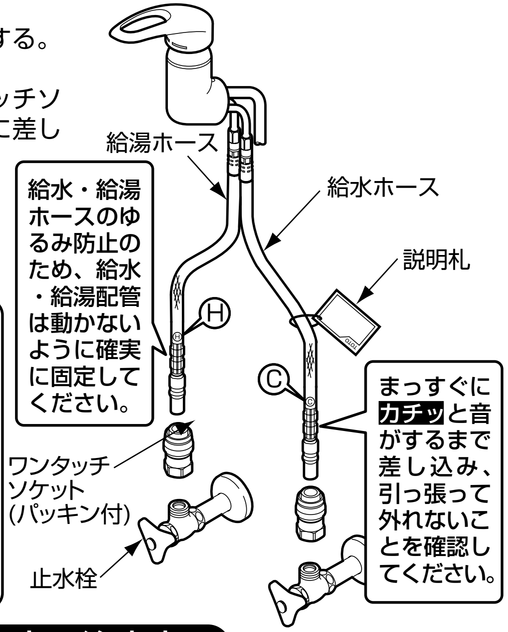
本体が確実に固定され、ガタなどがないことを確認ください。

3 給水・給湯ホースの接続

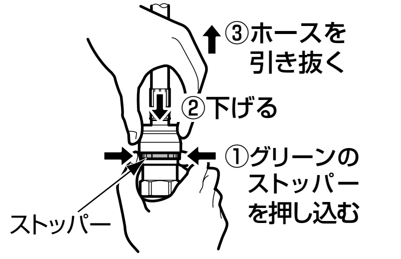
①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

②給水・給湯ホースを**まっすぐ**ワンタッチソケットに**カチッ**と音がするまで確実に差し込む。

※この際、同梱の「ワンタッチソケット取付け方法」の説明札を必ずホースに通してください。

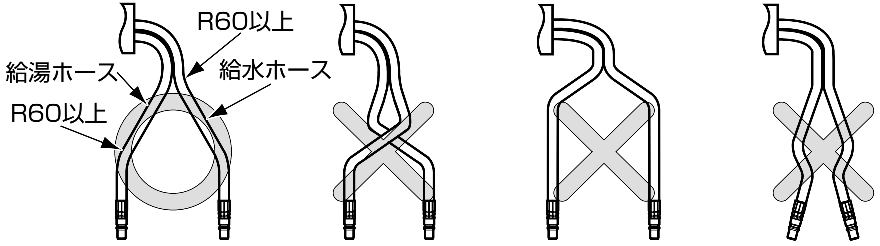


<ワンタッチソケットを取り外す場合>



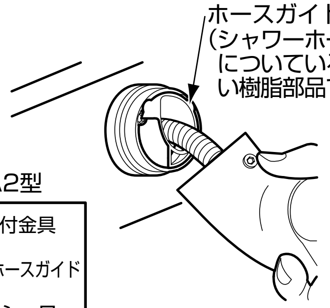
給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを **必要以上の力で曲げて折らないように** 注意してください。
  万一折れた場合は、指でつまんでもとどおりにしてください。
- ホースの **最小曲げ半径は60mm** です。それよりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
- ホースを **水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで** ください。
- ホースを **無理に引っ張らないで** ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の **不要な接触は避けて** ください。
  外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

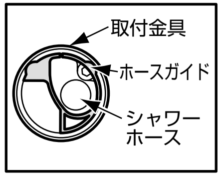


4-1 ハンドシャワー部の取付け

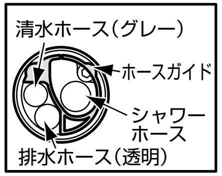
①本体と同様に止めねじを仮ねじ込み後、向かって左側の取付金具に挿入する。
シャワーホースをほぼ挿入したところでホースガイドを取付金具の形状に合わせて差し込む。



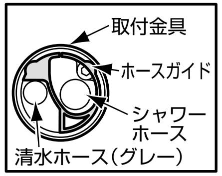
TK51A型



TK51A1型



TK51A2型

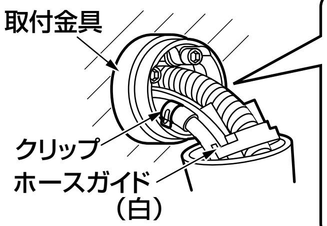


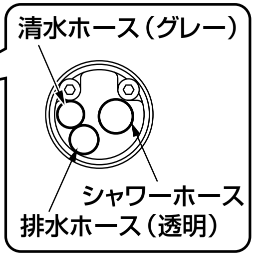
アルカリイオン水生成器用(TK51A1型)施工上の注意点

排水ホースが施工時に折れ曲がらないように挿入してください。
折れると、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
また、アルカリイオン水生成器の故障のおそれがあります。

1.ホース位置の確認

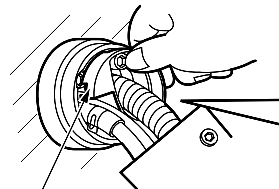
3本のホースを清水ホース(グレー)の **クリップまでほぼ挿入したところ** で、取付金具正面から見て、3本のホースが右図の位置になっているか確認、調整する。

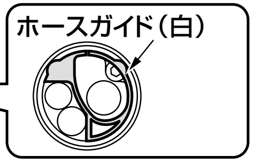




2,ホースガイドの差込み

取付金具の形状に合わせて、ホースガイド(白)を差し込む。



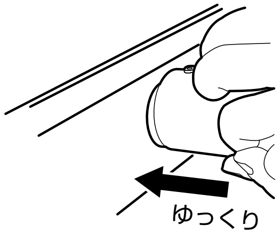


3.ホースの差込み

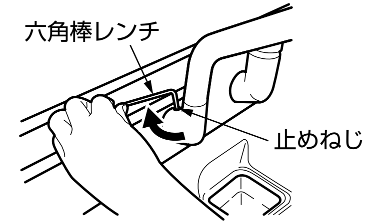
排水ホース(透明)が折り曲がらないよう に、慎重にホースガイド(白)に差し込む。

4-2 ハンドシャワー部の取付け(つづき)

②ハンドシャワー部を根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押し込む。
※入りにくい場合は、取付金具のOリングに水などをつけると入りやすくなります。

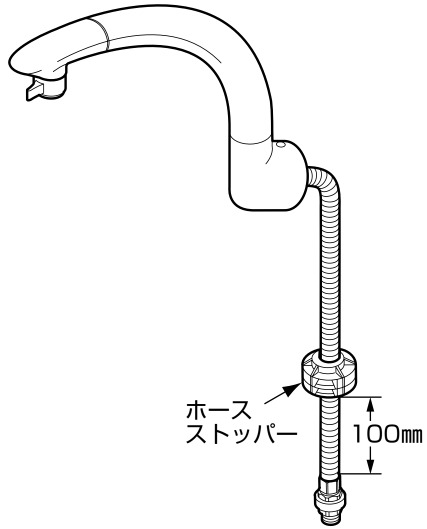


③ハンドシャワー部の向きを合わせてハンドシャワー部をシンクに押し当てたまま、**2-2** 水栓本体の取付け(つづき) ⑦⑧と同様に六角棒レンチで止めねじを締め付けた後、キャップを押し込む。



5 ホースストッパーの取付け

右図の位置にホースストッパーをパチンとはめ込む。
※ホースを引き出したとき、ゆとりがない場合は適当にずらしてください。



6 シャワーホースの取付け

一般地用の場合

混合ホースにシャワーホースを接続する。

注　意

パッキンをなくさないように注意してください。

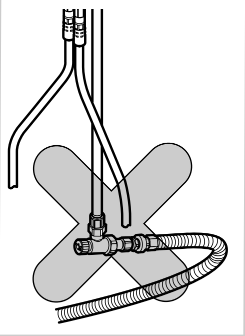
寒冷地用の場合

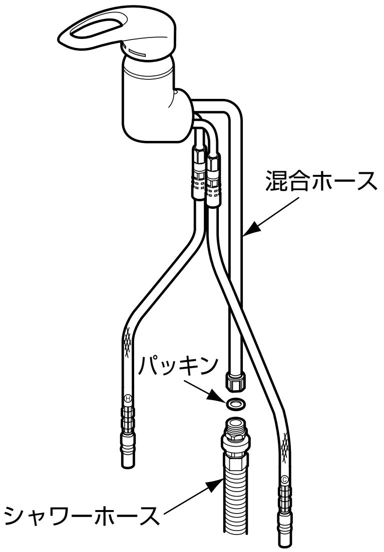
①シャワーホースを水抜栓に接続する。

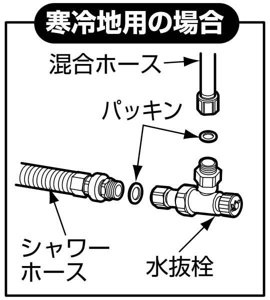
②混合ホースに水抜栓を接続する。

注　意

シャワーホースの水抜栓の取付方向に注意してください。（シャワーホースが曲がっていたら直してください）





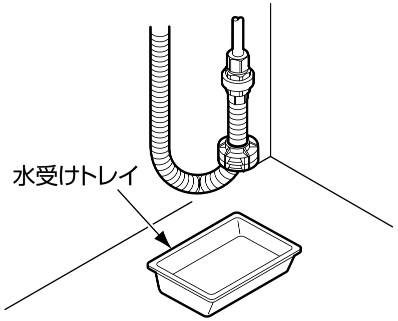


7 水受けトレイの取付け

水受けトレイは万一ホースの伝い水がキャビネット内に落ちた場合の受け皿となります。

①キャビネット床面のごみ、ほこりを取り除く。

②水受トレイ底面の接着テープの紙をはがし、キャビネット床面に強く押し付けて固定する。
※できるだけシャワーホースの真下に設置してください。



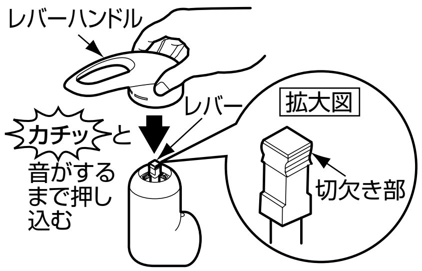
8 レバーハンドルの取付け

①レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。

②レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

注　意

レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向に注意してください。
レバーの切欠きは両サイドにあります。



TK51A1型（アルカリイオン水生成器用）及びTK51A2型（清水器用）の場合は、同梱のアルカリイオン水生成器又は清水器の施工説明書を参照の上、接続してください。

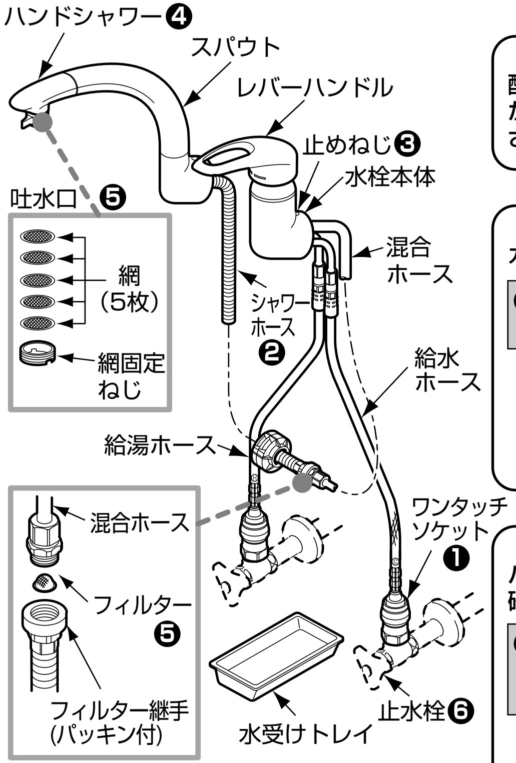
7 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**
お客様に十分ご説明ください。

現　　象	説　　明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重たく感じることがあります。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいているためで、故障ではありません。
お使いはじめにくらべて、しばらく使用されると、ハンドル操作が重く感じてくることがあります。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

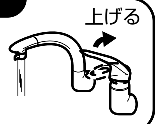
8 点検項目

取付けが完了した後、次の項目を確認してください。



水出し確認

配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❸ 水栓本体及びハンドシャワー部の止めねじは確実に締め付けていますか？

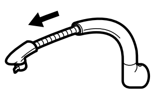
→ 6-1 ― 2「水栓本体の取付け」参照

→ 6-3 ― 4「ハンドシャワー部の取付け」参照

動作確認

ハンドシャワーがスムーズに引き出せるか確認してください。

❹ ハンドシャワーはシンクの先端付近まで引き出せますか？



→ シャワーホースが止水栓などに干渉していないか確認する。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶ 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

→ 6-2 ― 3「給水・給湯ホースの接続」参照

❷ シャワーホースは混合ホースに確実に締め付けられていますか？

→ 6-4 ― 6「シャワーホースの取付け」参照

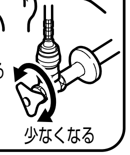
流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

❺ 吐水口・フィルターのごみづまりはないですか？

→ 吐水口・フィルターの掃除をする。

❻ 止水栓は開いていますか？

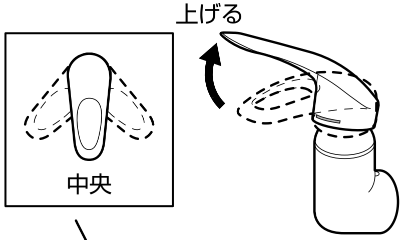


→ 止水栓で流量を調節する。

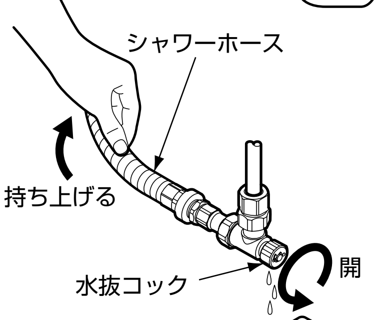
9 寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

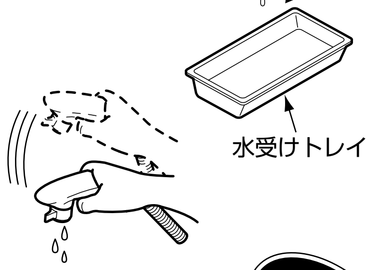
1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓を開ける。
2. レバーハンドルを中央位置で上げる。



3. 水抜コックの下に水受けトレイを用意し、水抜コックを開ける。
4. シャワーホースを持ち上げ、ホース内の水を抜く。

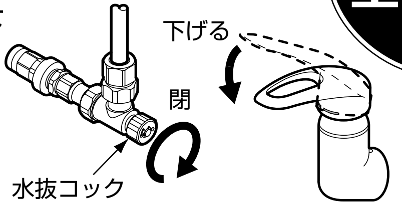


5. ハンドシャワーを引き出し、よく振って水を切ってからシンクの底に置く。



6. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを下げる。(水が出ない状態)

重要



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。